

「ボトル to ボトル」 水平リサイクルに関する協定締結式について

1 目的・趣旨

市内で回収した使用済みペットボトルをすべて同じペットボトルに水平リサイクルする取り組みの実施（令和7年4月～）に向けて、連携する明治グループ及びサントリーグループとの協定締結式を開催しました。

ペットボトルの水平リサイクルは、新たに石油由来原料を使用して製造した場合と比較して約 60%もの CO₂ を削減することができることから、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に向けて前進する取り組みです。また、全国で2例目となる明治グループとの連携協定においては、市内の明治愛知工場での再製品化により、資源の地域内循環に繋がります。

2 協定に基づく連携内容

- (1) ペットボトルの水平リサイクルを実施及び維持継続するために必要な活動
- (2) ペットボトルの水平リサイクルに係る住民等への普及啓発に関する活動
- (3) ペットボトルの水平リサイクル事業の実施に関する周知、宣伝活動
- (4) その他、ペットボトルの水平リサイクルの推進を目的とした活動

3 協定締結式

(1) 開催日時

令和7年2月25日（火）午後3時～3時35分

(2) 登壇者

- ・稲沢市長 加藤 錠司郎
- ・明治ホールディングス株式会社 常務執行役員 CSO 松岡 伸次
- ・株式会社明治 愛知工場 工場長 野呂 和弘
- ・サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員
サステナビリティ経営推進本部 副本部長 関 学

4 当日の様子



左から関本部長、加藤市長、松岡 CSO、野呂工場長

5 メディアへの掲載

①中日新聞

令和7年3月8日(土) 尾張版

樹木葬 大法寺 検索

NPO 倉市で 現在は 録し、 内容な の調整 一が週 問し、 一緒 たりす

の外国 める。 の困り 国ルー とにし い日本 を用意 子さん もあっ き届い を通

水平リサイクルで協定

加藤市長(左から2人目)と協定書を交わす各企業の代表者ら「稲沢市役所」



稲沢市 明治、サントリーグループと ペットボトル再生推進

稲沢市は、回収した使用済みペットボトルを新しい「ボトルに再生する「水平リサイクル」の推進に向け、飲料メーカーの明治グループ、サントリーグループと

協定を結んだ。水平リサイクルは「からボトルを作るのに比べ、石油由来樹脂の使用量と二酸化炭素の排出量を減らせるため、環境負荷が少ない。「ゼロカーボン」を宣言する市に両グループから依頼があり、協定が実現した。明治と自治体の協定締結は全国で2例目。

市は集めたボトルをリサイクル業者を介して再生できる素材に変え、両グループに販売する。明治グループは同市平和町の明治愛知工場で再製品化し、資源の地域内循環にもつなげる。

市役所で締結式があり、明治ホールディングスと愛知工場、サントリーホールディングスの代表者らが出席。加藤錠司郎市長と協定書を交わした。(寺田結)

中2ペア「優勝目指す」

愛西 ソフトテニス全国大会出場

29日から三重県四日市市で開かれる「第10回全国ミニノカッパジュニア選手権」に出場する愛西市佐屋中学校の2ペア(寺田結、村上)

②稲沢CATV

放送時期：令和7年3月1日(土) ①16:30、②9:00、③14:35、④16:00、⑤21:00